



徳島県立農林水産総合技術支援センター 農業大学校



長い歴史を持つ「徳島農大」は、平成25年に徳島県立農林水産総合技術支援センター内に統合し、県内農業の「知の拠点」という恵まれた環境の中で、次代の農業・食品産業の担い手の育成に取り組んでいます。

学校教育法(文科省)に基づく専修学校(専門課程)に位置づけられたことから、卒業者には専門士の称号が与えられ、4年制大学への編入の道も開かれています。また、日本学生支援機構の奨学金対象校です。

仲間とともに、
先進の農業・
食品産業を
学びませんか



令和 9 年度 入学生募集案内

項目	区 分	本 科	研 究 科
募集対象		農業者及び農村地域の指導者をを目指す者	農業経営に必要な知識及び技術の作物別の修得を目指す者
募集人員		40 名程度	若干名
修業期間		2 年	1 年または 2 年
コ ー ス		農業生産技術コース 高度で先進的な生産技術及び農業経営技術を有し、地域農業を先導できる人材を育成するコース 6 次産業ビジネスコース 食品産業分野への参入及び地域農業社会での多様な役割を担うことのできる人材を育成するコース	志望によりその都度定める。
受験資格		【推进入学】 次の条件を全て満たす者 (1) 公立、私立高等学校の長から推薦を受けた者 (2) 高等学校若しくはこれに準ずる学校を卒業した者（令和 9 年 3 月卒業見込み者を含む）。 (3) 人物良好で、かつ、卒業後に県内の農業または農業・食品関連産業に従事する意志が強固な者 (4) 本校へ入学するに足る水準以上の学力を有する者（学習成績概評が概ね 3.0 以上） (5) 専願制（合格した場合、入学を確約できる者） 【一般入学】 「高等学校若しくはこれに準ずる学校若しくは中等教育学校を卒業した者は文部科学大臣の定めるところによりこれに準ずる学力があると認められた者」及び「令和 9 年 3 月 31 日までにこれに該当する見込みの者」	本科又は短期大学を卒業した者。 (令和 9 年 3 月卒業見込みの者を含む。) もしくはこれと同等以上の学力を有すると知事が認めた者
選考方法		①推薦入学試験による選考 論文試験、口述試験及び調査書により決定する。 ②一般入学試験による選考 筆記試験、口述試験及び調査書により決定する。	①本校が出題した論文の審査及び口述試験により決定する。 (課題は願書受理後本人に通知する。)
提出書類		① 入学願書 本校指定様式（写真添付） ② 調査書 最終学校長の作成したもの ③ 推薦書 本校指定様式（ただし、一般入学試験は不要） ④ 健康診断書 （ただし、令和 9 年 3 月に高等学校を卒業見込みの者は不要） 記載事項：視力（左、右）、聴力（左、右）、結核、運動機能その他の疾病及び異常（入学後の健康管理上注意すべき疾病の有無等） ⑤ 受験票 本校指定様式（写真を枠内に貼付） ⑥ 返信用封筒 長形 3 号の大きさで、宛先を明記し、110 円を貼付すること。 ⑦ 写真 2 枚 たて 6 cm よこ 4.5 cm 背景無地・上半身・無帽・正面向きで撮影し、裏に氏名を記入。 1 枚は①入学願書の右上部にクリップで添付し、1 枚は⑤受験票の枠内へ糊で貼り付けること。	①入学願書 本科と同じ ②成績証明書 最終学校長の作成したもの ③健康診断書 記載事項は本科と同じ ④写真 1 枚 サイズ等は本科と同じ 裏に氏名を記入し、①入学願書の右上部にクリップで添付する。 ただし、本校卒業生は②成績証明書は不要。 また、本校卒業見込みの者は、②成績証明書及び③健康診断書は不要。
入学試験手数料		2,200 円（納付書により納付する。）	左と同じ
応募手続		照会等：出願に関する照会、募集案内、入学願書等書類の請求は、農業大学校学生支援担当まで。 また、試験日の 3 日前までに受験票が届かない場合は、学生支援担当まで問い合わせ、指示に従うこと。 なお、募集案内、入学願書等書類は、本校ホームページからダウンロードすることもできる。 ホームページアドレス https://tonodai.ac.jp/ 提 出：郵送（簡易書留）又は持参する。 宛 先：〒 779-3233 徳島県名西郡石井町石井字石井 1660 徳島県立農林水産総合技術支援センター農業大学校 TEL (088) 674-1026 FAX (088) 674-8129	
試験場所		徳島県立農林水産総合技術支援センター農業大学校 (徳島県名西郡石井町石井字石井 1660)	左と同じ

区分 項目	本 科	研 究 科
試 験 日 程 等	1 共通留意事項 (1) 出願書類を持参する場合の受付は、平日の 8:30 ～ 17:15 とする。 (2) 一般入試については補欠合格制を実施する。 (3) 徳島県情報公開条例に基づく開示請求について 推薦入学試験の論文試験、又は一般入学試験の科目別得点は、口頭による開示請求ができる。 2 各試験の日程・試験内容等 (1) 推薦入学試験 ①願書受付: 令和 8 年 9 月 10 日 (木) ～令和 8 年 10 月 1 日 (木) まで (必着) ※ただし、令和 8 年 9 月 29 日 (火) までの消印があるものに限り、期限後到着の場合も受け付ける。 ②試験日程: 令和 8 年 10 月 8 日 (木) 論文試験 9:00 ～ 10:00 口述試験 10:10 ～ ③合格発表: 令和 8 年 10 月 15 日 (木) 午前 10 時 本校本館玄関前に掲示する。後日、推薦高校長を通じて本人に通知する。 (2) 一般入学試験 (1 次募集) ①願書受付: 令和 8 年 12 月 22 日 (火) ～令和 9 年 1 月 7 日 (木) まで (必着) (令和 8 年 12 月 29 日～令和 9 年 1 月 3 日を除く) ※ただし、令和 9 年 1 月 5 日 (火) までの消印があるものに限り、期限後到着の場合も受け付ける。 ②試験日程: 令和 9 年 1 月 14 日 (木) ◎筆記試験 国語 (古文、漢文を除く) (配点 200 点) 9:00 ～ 10:40 一般教養 (主に生物・数学・英語) (配点 100 点) 11:00 ～ 12:00 ◎口述試験 13:00 ～ ③合格発表: 令和 9 年 1 月 21 日 (木) 午前 10 時 本校本館玄関前に掲示する。後日、本人に通知する。 (3) 一般入学試験 (2 次募集) ①願書受付: 令和 9 年 2 月 17 日 (水) ～令和 9 年 3 月 3 日 (水) まで (必着) ※ただし、令和 9 年 3 月 1 日 (月) までの消印があるものに限り、期限後到着の場合も受け付ける。 ②試験日程: 令和 9 年 3 月 10 日 (水) ◎筆記試験 国語 (古文、漢文を除く) (配点 200 点) 9:00 ～ 10:40 一般教養 (主に生物・数学・英語) (配点 100 点) 11:00 ～ 12:00 ◎口述試験 13:00 ～ ③合格発表: 令和 9 年 3 月 17 日 (水) 午前 10 時 本校本館玄関前に掲示する。後日、本人に通知する。	①願書受付 令和 9 年 2 月 2 日 (火) ～ 令和 9 年 2 月 16 日 (火) (必着) ※ただし、令和 9 年 2 月 12 日 (金) までの消印があるものに限り、期限後到着の場合も受け付ける。 ②試験日程 本校が指定した日までに論文を提出。 口述試験の日程は論文審査後に指定。 ③合格発表 試験後 1 週間以内に本人へ通知する。
卒業時の資格	(1) 卒業生には「専門士 (農業専門課程)」の称号が付与される。 (2) 卒業生 (見込みを含む) は 4 年制大学への編入学試験の受験資格が得られる。 (3) 短期大学 2 卒業相当 (人事院規則九一八)	短期大学 2 卒業で入学した研究科卒業生は短期大学 3 卒業相当となる。(人事院規則九一八)
入学時必要経費 (参考)	【内訳】 (1) 入学金 5,650 円 (2) 授業料 59,400 円 (1 年次前期分) (3) 入学時諸経費 180,000 円 ①後援会 (PTA) 費 40,000 円 (入会金 10,000 円、年会費 30,000 円) ②学生自治会費 30,000 円 (入会金 5,000 円、年会費 25,000 円) ③同窓会費 5,000 円 (永年会費) ④学校指定傷害保険料 20,000 円 (2 年間分) ⑤教科書及び白衣代 85,000 円程度 (2 年間分) (4) その他、事務用品、作業着、作業靴、パソコン等、学業に必要な物の購入費が必要。	【修業期間 1 年の場合】 (1) 入学金 5,650 円 (2) 授業料 59,400 円 (前期分) (3) 入学時諸経費 100,000 円 【内訳】 ①後援会 (PTA) 費 40,000 円 (入会金 10,000 円、年会費 30,000 円) ②学生自治会費 30,000 円 (入会金 5,000 円、年会費 25,000 円) ③同窓会費 5,000 円 ④学校指定傷害保険料 10,000 円 ⑤教科書代 15,000 円
奨学金制度等 (参考)	本校の本科は、独立行政法人日本学生支援機構の奨学金の対象校。 詳細についての照会は、学生支援担当まで。 (例) 給付型奨学金 自宅通学第 I 区分は 29,200 円	対象外

教育目標

農産物の生産から加工、販売までの実践を中心とした農業教育を通じ、幅広い教養と農業及び食料に関し深い理解と熱意を持った農業及びその関連産業の担い手を育成する。

教育方針

●自主性の育成

自ら課題を設定し、自主的にプロジェクト課題解決学習に取り組むことで、意欲と実行力のある人材を育成する。

●仲間づくり

互いに協力しあいながら実習や集団活動等に取り組むことで、自立と協調の精神を養う。

●実践学習

講義、演習で得た知識を活かし、実践学習へ発展させることで、問題解決能力を養成する。

●マンツーマン指導

個性や進路希望等をふまえた濃密な指導により、学生個々の目標実現を支援する。

●コーディネータの養成

地域社会・経済や人々の考え方、技術を結びつけることで、地域振興や新たな取り組みにつなげるコーディネート能力を養成する。

●地域農業等への寄与

先進農家、関係機関や団体及び農業・食品関連産業等との連携を深め、総合的な指導体制により、幅広い視野と経営能力を有する地域産業や農村生活のリーダーを養成する。



農業法人相談会(個別相談)

2

つのコース制

卒業後は、農業分野、食品分野の担い手として就職しています。

「農業生産技術コース」では、農業の生産技術や農業経営技術などを学びます。

「6次産業ビジネスコース」では、六次産業化研究施設を学習拠点に商品開発、マーケティングなどを学びます。

農業生産技術コース



果樹園にて



野菜の収穫



温室にて

6次産業ビジネスコース



加工風景



商品開発した加工品



加工品の販売活動

主な学校行事



2年間の集大成
プロジェクト成果発表会



先進事例を学ぶ
「校外研修」



熱い! 四国農学連
スポーツ大会

徳島県立農林水産総合技術支援センター

農業大学校

〒779-3233 徳島県名西郡石井町石井字石井 1660

TEL (088) 674-1026 FAX (088) 674-8129

HP 徳島農大

検索



アクセス: JR石井駅から車で約6分、徒歩約20分
徳島バス「石井警察前」から南に徒歩10分

